



おかむら通信 178号

令和2年2月号



<ご挨拶>

みなさま、中国発進の、新型コロナウイルス肺炎なるものが、もうすでにヨーロッパにまで波及しています。新型コロナウイルス関連肺炎、新型コロナウイルス関連感染症などと、呼称が色々ありますが、治療法はいまのところ対症療法しかありません。

ワクチンができるまで、どうにか耐え忍ぶしかないようです。感染した時の手順は、当院の玄関に掲示したごとく、まず、医療機関に受診する前に、保健所等へ問い合わせてください。武漢から帰国したか、そのような方と接触した可能性のある方に限らず。今は3次4次感染も考えられますが。まだそこまで対応できていないようです。

強い感染力のある疾患、たとえば、インフルエンザ、アデノウイルスなどにかかって抵抗力、免疫力が低下しないように、またもともと、体力が低下せざるを得ない悪性腫瘍に対して化学療法中の方々は、普段から気を付けましょう。

何かあったら、相談してください。



<今月の言葉>

じっとして動かない、天命にしたがう、いまは、ほんとうの心は人に見せないほうがいい、みせたとたん、けがれた生命体に汚染され、壊れてしまうから、本当に、まともに生きることのむずかしい世の中よ。

何某さん、

<院長より>

1月27日から31日までの順天堂大学医学部、5年生の臨床実習が終了いたしました。みなさまご協力ありがとうございました。大学から感謝状をいただいております。

Oncology Emergency 順天堂大学で、「参加者は英語のみ話すこと」とされている外国人による勉強会に行ってきました。米国医療ですが、日本で勉強している内容と、微妙に違いがあります。考え方？センス？講師、学生（参加した私も）間の積極的質疑、講義の途中でも討論がまかりとうります。教えるほうも常に緊張感が漂っているようでした。勉強になりました。

久々の順天堂でしたが、驚くほど建物が立派になっていました。庭が、そ





との空間スペースが消えて、何か乾いた感じもしました。隣の、医科歯科大学でさえ圧倒するかのようです。中身もよくなっていることを望みます。質のいい学生が増えているとのことですが、外の世界を感じ、何物かを見抜く力を磨き、体の奥に存在する自らのパワーを信じ、様々な眼力を鍛えてほしいですね。

最近の診察中に、ご自分の病気に関して、他人ごとのような雰囲気の方を拝見しました。高血圧症、糖尿病、動脈硬化の進展など、自覚症状が普段出にくい病に対しては共に考え、共によく生きよう、長生きしよう、という気持ちを持つだけで、倍良くなります。

しかし、当院に通ってこられる糖尿病の患者さんのほとんどが、きわめて優良なコントロールがなされています。その数と%は市内、県内でも、トップレベルです。おそらく、しかしどうしても、という患者さんはおられます。厳しい環境におられるのでしようが、何かを少し、少しずつ一緒に頑張りましょう。



<1月の院長の活動>

- 9/ (木) 糸東流 空手 稽古 馬橋
- 10/ (金) 午前外来 庸介先生の代診 当院
- 11/ (土) 松戸市小児夜間急病センター 勤務 松戸総合医療センター内
- 12/ (日) AI: 医療への応用、勉強会 有楽町
- 16/ (木) ルーマニア会 峯川知子氏 (ピアニスト・コルペティートル) らと船橋
- 20/ (月) カンファレンス/当院
- 23/ (木) アメリカンクラブにてRミーティング 麻布
- 25/ (土) 順天堂一外 306 研 新年会 東京
- 27/ (月) から 31/ (金) 順天堂医学生 (5年) 実習 K・Oさん 当院
- 30/ (木) 松戸小児医会 丸山先生 (小児神経・小児糖尿病・自閉症など) を囲んで 松戸
- 31/ (金) 午前外来 庸介先生の代診 当院



ここ数ヶ月、水道工事により、迂回して「復たなご」
ご不便をお掛けしていただきが...

今月で冬3年です。

今月は2年振りにスキー (2年前は20年振りに)

に行、てきますが、木の進捗にすごいですね!

七重

